

## 議事 1 令和元年度事業報告

## 1 柏市学校警察連絡協議会生活実態調査について

柏市少年補導センターが事務局を務める学校警察連絡協議会が実施した「生活実態調査」得られた結果を報告します。

## (1) 携帯電話・スマートフォン所持率について（別紙 1 - 2, P 3 ~ 5）

小学生，中学生，高校生ともスマートフォン所持率は高く推移しています。小学生のスマートフォン所持率は平成 30 年度の 42% から 51% に，中学生は同年 77% から 79% に上昇しており，高校生においては 90% を超えた状態が継続しています。

## (2) タブレット所有状況（別紙 1 - 2, P 6）

タブレットが自宅にあるか調べたところ，小学 6 年生の値が中学生，高校生より高い状態が続いている。個人専用の携帯やスマートフォンを持たない子どもたちであってもインターネットを利用できる機器が身近にあると考えられます。

## (3) インターネットへの動画投稿経験（別紙 1 - 2, P 8）

インターネットに動画を投稿したことがあるという回答の割合が一番高かったのは中学生でした。この時期以前に正しい使い方を教育することで，インターネット利用に関わるトラブルを防止する効果が見込めると考えられます。

## (4) LINE の利用状況（別紙 1 - 2, P 9）

LINE の利用率も高まっている。小学生の LINE 利用率は，平成 30 年度の 43% から 60% に上昇し，中学生も同年 83% から 92% に上昇しています。

## (5) 会ったことのない人と LINE で親しくなった経験（別紙 1 - 2, P 10）

会ったことのない人と LINE で親しくなったことがあると答えた者は，小学生の 20% が 7% に低下，中高生は 10% 台半ばで推移しています。

## (6) LINE で知り合った人と実際に会った経験（別紙 1 - 2, P 11）

LINE で知り合った人と会ったことがあるかについて，平成 30 年度最も高かった高校生の 18% が，令和元年度は 30% に上昇しており，小学生においても 17% の回答があった。SNS やインターネットを介して，知らない人と会ってしまうことが少なくないとみることができます。

## 2 令和元年度活動結果について

柏市少年補導センターが実施した、補導活動、相談活動、啓発活動及びサイバーパトロールについて、次の事項を報告します。

### (1) 補導活動について（別紙１－２，P 17～18）

令和元年度の補導少年総数は315名で、平成26年度328名、平成27年度198名、平成28年度246名、平成29年度271名、平成30年度239名で、5年ぶりに300件を超えました。

不良行為としては怠学が多く、平成29年度147件、平成30年度165件、令和元年度229件となっており、主に高校生の件数が増加傾向にあります。

喫煙の総数は、平成29年度59件、30年度31件、令和元年度18件と減少している。特に中学生の喫煙が平成29年度25件から平成30年度には1件、令和元年度1件と低く推移しました。

数年前の柏駅D街区再開発により、特定の場所が子どもたちのたまり場になっていたが、環境整備によりその状況は改善され、特に夜間補導においては、子ども達の姿を見かける機会が少なくなっています。

### (2) 相談活動について（別紙１－２，P 21）

少年相談が前年度より14件増加して67件、いじめeメール相談が5件減少して5件、やまびこ電話柏相談が135件減少して366件、STOP i t相談が32件減少して133件となっています。

相談内容が多岐にわたり、状況に応じて関係機関と連携して解決を図りました。

### (3) 啓発講演について（別紙１－２，P 22）

情報モラル教育や薬物欄協防止等の内容83回実施しました。

### (4) サイバーパトロールについて（別紙１－２，P 23）

サイバーパトロールでは個人情報の書込みが5件であり、平成29年度67件から平成30年度8件と大幅に減少したのち、低く推移しています。